令和７年度奈良県・大和高田市・県立大附属高
公立学校教員採用候補者選考試験

養護教諭

６０分

解答上の注意

1 ～ 3 について

1　答えは、マークシートにマークしなさい。

2　マークシートの左下にある「記入上の注意」をよく読んで答えなさい。

4 について

1　解答は、別紙「解答用紙」の問題番号に対応した解答欄に、記入しなさい。

2　解答用紙全てに受験番号と氏名を書きなさい。

1 「子どもの心のケアのために―災害や事件・事故発生時を中心に―」（平成22年７月　文部科学省）に示されている内容について、問いに答えよ。

(1) 次の文は、「第２章　子どもの心のケアの体制づくり　２　心のケアに関する危機管理　(1) 危機発生時の対応のポイント」に示されている内容の一部である。〔　A　〕～〔　E　〕に当てはまる語句を、それぞれ下の１～５から１つ選べ。

> 学校保健安全法　第29条
> 1　学校においては、児童生徒等の〔　A　〕の確保を図るため、当該学校の実情に応じて、危険等発生時において当該学校の職員がとるべき措置の具体的内容及び手順を定めた〔　B　〕（次項において「危険等発生時〔　B　〕」という。）を作成するものとする。
> 2　校長は、危険等発生時〔　B　〕の職員に対する周知、〔　C　〕の実施その他の危険等発生時において職員が適切に対処するために必要な措置を講ずるものとする。
> 3　学校においては、事故等により児童生徒等に〔　D　〕が生じた場合において、当該児童生徒等及び当該事故等により〔　E　〕その他の心身の健康に対する影響を受けた児童生徒等その他の関係者の心身の健康を回復させるため、これらの者に対して必要な支援を行うものとする。この場合においては、第10条の規定を準用する。

〔　A　〕［解答番号１］
1　健康な生活　　2　安全　　3　体力　　4　心のケア　　5　生活環境

〔　B　〕［解答番号２］
1　全体計画　　2　危機管理マニュアル　　3　対処要領　　4　指導計画　　5　避難計画

〔　C　〕［解答番号３］
1　コンサルテーション　　2　役割分担　　3　体制整備　　4　研修　　5　訓練

〔　D　〕［解答番号４］
1　危害　　2　不適応　　3　変化　　4　緊急事態　　5　精神症状

〔　E　〕［解答番号５］
1　うつ状態　　2　不眠　　3　ストレス　　4　不安障害　　5　心理的外傷

(2) 次の文は、「第１章　災害や事件・事故発生時における子どもの心のケア　２　災害や事件・事故発生時における心のケアの基本的理解」に示されている内容の一部である。次の〔　F　〕～〔　J　〕のうち、正しい説明には１、誤っている説明には２を選べ。

〔　F　〕災害等に遭遇すると、恐怖や喪失体験などの心理的ストレスによって、心の症状だけでなく身体の症状も現れやすいことが子どもの特徴である。［解答番号６］

〔　G　〕幼稚園から小学校低学年までは、身体症状とともに、元気がなくなって引きこもりがちになる（うつ状態）、ささいなことで驚く、夜間に何度も目覚めるなどの症状が目立つ。［解答番号７］

〔　H　〕災害や事件・事故発生時における子どものストレス反応はだれでも起こり得ることであり、ストレスが強くない場合には、心身に現れる症状は悪化せず数日以内で消失することが多い。［解答番号８］

〔　I　〕急性ストレス障害の主な症状は、持続的な再体験症状、体験を連想させるものからの回避症状、感情や緊張が高まる覚せい亢進症状である。［解答番号９］

〔　J　〕災害や事件・事故後に、急性ストレス障害のような強いストレス症状が現れ、それが２週間以上持続した場合は「外傷後ストレス障害」と呼ぶ。［解答番号10］

2 「児童生徒等の健康診断マニュアル」（平成27年度改訂　公益財団法人日本学校保健会）に示されている内容について、問いに答えよ。

(1) 次の文は、「第1章　児童、生徒、学生及び幼児の健康診断の実施　5　方法及び技術的基準　4 脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態　検査の実際」に示されている内容である。（　A　）～（　E　）に当てはまる語句を、それぞれ下の1～5から1つ選べ。

＜準備＞
家庭における観察の結果、学校に提出される保健調査票の整形外科のチェックがある項目を整理する。これに加え、日常の（　A　）の情報を整理する。可能であるならば、養護教諭は、（　B　）と連携し、保健調査票においてチェックがある項目の観察を健康診断前に実施し、情報を整理する。

＜方法＞
1　養護教諭は保健調査票、学校での日常の（　A　）等の整理された情報を、健康診断の際に学校医に提供する。
2　提供された保健調査等の情報を参考に、側わん症の検査を行う。四肢の状態等については、（　C　）の姿勢・（　D　）の状態に注意を払い、伝えられた保健調査でのチェックの有無等により、必要に応じて、留意事項を参考に、検査を行う。

＜判定＞
学校医による視触診等で、（　E　）を行うのに支障があるような疾病・異常等が疑われる場合には、医療機関で検査を受けるよう勧め、専門医の判定を待つ。

（　A　）［解答番号11］
1　保健指導　　2　健康観察　　3　食習慣　　4　運動習慣　　5　健康相談

（　B　）［解答番号12］
1　学級の担任　　2　学校の管理職　　3　体育やクラブ活動の担当者　　4　保健主事　　5　内科検診の担当者

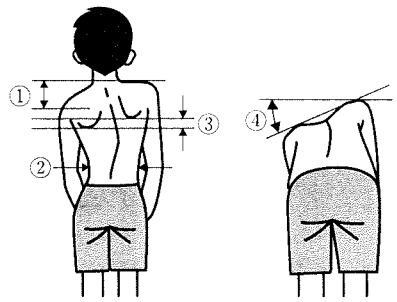
（　C　）［解答番号13］
1　入室時　　2　授業時　　3　座位　　4　立位　　5　運動時

（　D　）［解答番号14］
1　屈曲　　2　伸展　　3　歩行　　4　座位　　5　立位

（　E　）［解答番号15］
1　学業　　2　運動　　3　クラブ活動　　4　体育　　5　日常生活

(2)　次の文は、「第１章　児童、生徒、学生及び幼児の健康診断の実施　5　方法及び技術的基準　4　脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態　留意事項」に示されている内容の一部である。次の（　F　）～（　J　）のうち、正しい説明には**1**、誤っている説明には**2**を選べ。

図１　検査例１



①　肩の高さ　　②　ウエストライン（脇線）
③（　　）　　④（　　）

（　F　）　図１に示している検査例１の③は肩甲骨の位置、④は腰椎隆起である。　[解答番号16]

（　G　）　前屈テストでは、背部の高さが必ず目の高さにくるように前屈させながら、背中の頭側から腰の部分まで見ていく必要がある。　[解答番号17]

（　H　）　かがんだり（屈曲）、反らしたり（伸展）したときに、腰に痛みが出るか否かをたずね、後ろに反らせることにより腰痛が誘発されるかどうか確認する。　[解答番号18]

（　I　）　肩関節の可動性は正面より観察して、児童生徒等の両肘関節を伸展させた状態で上肢を前方挙上させて異常の有無を検査する。上腕が耳につくか否かに注意する。　[解答番号19]

（　J　）　肘関節の可動性は側面より観察して、児童生徒等の両前腕を回外させて、手掌を下に向けた状態で肘関節を屈曲・伸展させて異常の有無を検査する。　[解答番号20]

3 「学校における薬品管理マニュアル」（令和４年度改訂　公益財団法人日本学校保健会）に示されている内容について、問いに答えよ。

(1) 次の文は、「第２章　要指導医薬品・一般用医薬品の取扱い　１．要指導医薬品・一般用医薬品の取扱いの考え方及び管理時の対応　(1) 学校における共通理解」に示されている内容の一部である。〈　A　〉～〈　E　〉に当てはまる語句を、それぞれ下の１～５から１つ選べ。

> 学校で児童生徒に要指導医薬品及び〈　A　〉医薬品を提供することは適当ではありません。また、一般用医薬品を購入する場合には、可能な限り、安全性の高い〈　B　〉医薬品を選ぶようにします。
> 学校での一般用医薬品の管理に関する責任者は〈　C　〉です。一般用医薬品の購入や保管などの取扱いについては、保健主事、養護教諭等だけで判断せず、必ず〈　C　〉に相談し、〈　D　〉の指導・助言を受け、決定するようにします。
> 年度当初に、養護教諭は保健主事と協力し、〈　E　〉に対して、学校における一般用医薬品の取扱いの方針を説明し、共通理解を図ることが大切です。

〈　A　〉［解答番号21］
1　第一類　　2　第二類　　3　指定第二類　　4　医療用　　5　第三類

〈　B　〉［解答番号22］
1　第一類　　2　第二類　　3　指定第二類　　4　医療用　　5　第三類

〈　C　〉［解答番号23］
1　学校医　　2　校長　　3　学校薬剤師　　4　教頭　　5　学校の設置者

〈　D　〉［解答番号24］
1　主治医　　2　学校保健技師　　3　登録販売者　　4　校長　　5　学校医、学校歯科医又は学校薬剤師

〈　E　〉［解答番号25］
1　学校の設置者　　2　保護者　　3　児童生徒　　4　教職員　　5　管理職

(2) 次の文は、「第２章　要指導医薬品・一般用医薬品の取扱い　２．よくある質問　(2) 一般用医薬品の購入及び保管・管理」に示されている内容の一部である。次の〈　F　〉～〈　J　〉のうち、正しい説明には１、誤っている説明には２を選べ。

〈　F　〉 医薬品の使用期限は未開封の期限であり、開封後長期間経過したものは品質が劣化するため、購入する量は必要最小限の量とします。［解答番号26］

〈　G　〉 購入する数量は、保護者等の依頼を十分に考慮して決めます。［解答番号27］

〈　H　〉 一般用医薬品の保管は、箱に同封されている説明文書の記載に従い、直射日光を避け、温度・湿度に注意し、誰もが見て取れる場所に保管します。［解答番号28］

〈　I　〉 使用期限の長いものを購入します。また、小包装で可能な限り個別包装（個々に包装されているもの）になっているものを購入します。［解答番号29］

〈　J　〉 使用した児童生徒や使用量等については、一般用医薬品管理簿に記録しておきます。［解答番号30］

4　次の図は、「ＪＲＣ蘇生ガイドライン 2020（〔監修〕一般社団法人日本蘇生協議会）　第１章　一次救命処置」に示されている「図１　市民用ＢＬＳアルゴリズム」である。（　Ａ　）～（　Ｊ　）に当てはまる語句または数字を答えよ。ただし、同じ記号には同じ語句または数字が入るものとし、（　Ｃ　）と（　Ｄ　）の順は問わない。

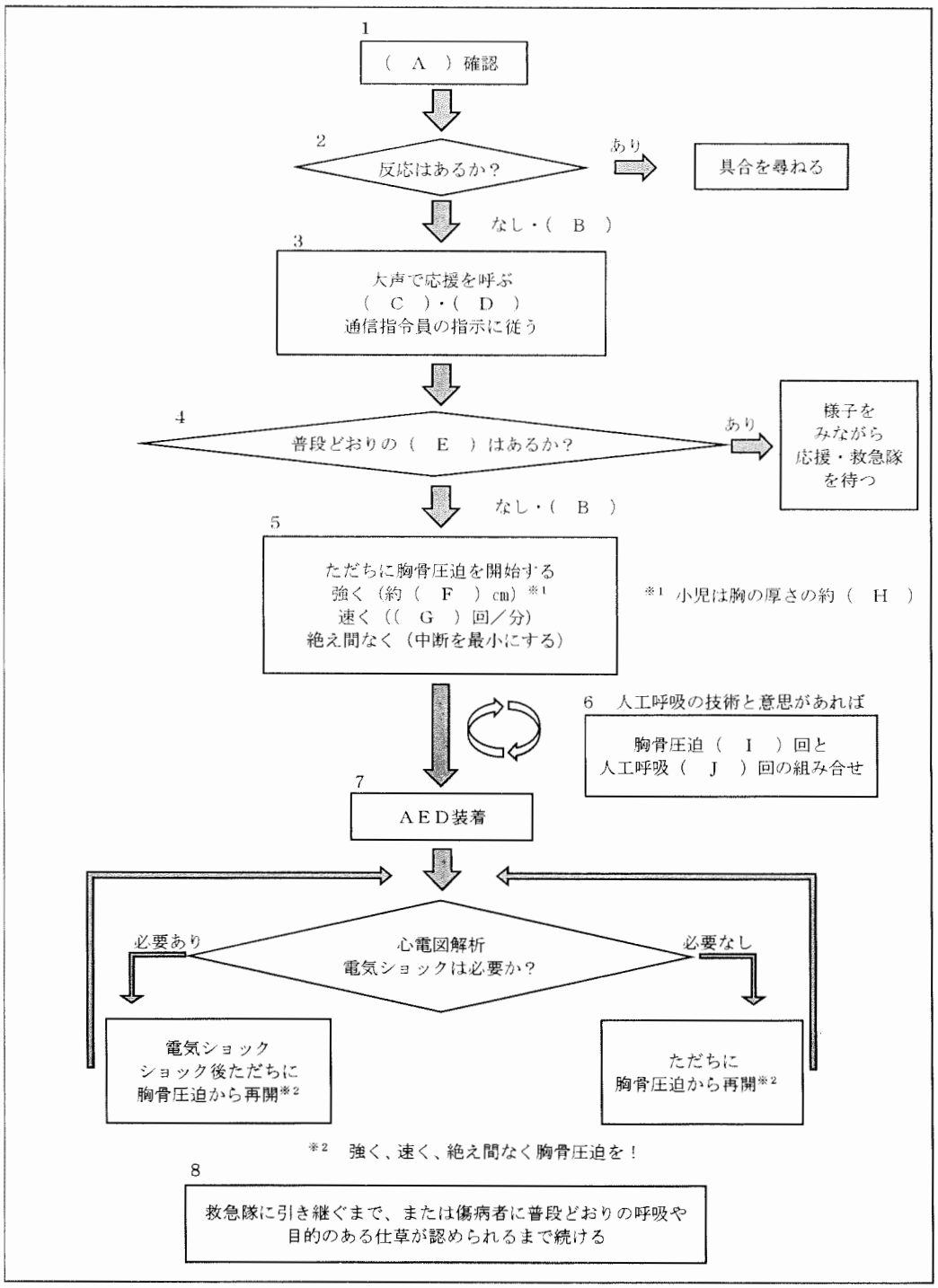


図１　市民用ＢＬＳアルゴリズム

問題番号			解答番号	正答	配点
大問	中問	小問			
大問1	(1)	A	1	2	5
		B	2	3	5
		C	3	5	5
		D	4	1	5
		E	5	5	5
	(2)	F	6	1	5
		G	7	2	5
		H	8	1	5
		I	9	1	5
		J	10	2	5
大問2	(1)	A	11	2	5
		B	12	3	5
		C	13	1	5
		D	14	3	5
		E	15	1	5
	(2)	F	16	2	5
		G	17	1	5
		H	18	1	5
		I	19	2	5
		J	20	2	5
大問3	(1)	A	21	1	5
		B	22	5	5
		C	23	2	5
		D	24	5	5
		E	25	4	5
	(2)	F	26	1	5
		G	27	2	5
		H	28	2	5
		I	29	1	5
		J	30	2	5
				合計	150

養護

受験番号	校　種	氏　名

解　答　用　紙

総得点	

4	(A)	安全	(B)	判断に迷う ※「わからない」は３点
	(C)	119 番通報 ※「119 番に電話」など、内容が合っていれば３点	(D)	AED 依頼 ※「AED 要請」など、内容が合っていれば３点
	(E)	呼吸	(F)	5
	(G)	100～120	(H)	1／3
各５点	(I)	30	(J)	2

※(C)と(D)は順不同でも可とする。

得点	